

肺炎の予防や 衛生知識普及

AMDAのアフガン救援

AMDAは十日までに、内戦が続くアフガニスタンで、来年一月にも始める医療救援プロジェクトの内容を発表した。

肺炎、マラリアなど死亡率の高い疾患の予防▽公衆衛生知識の普及▽衛生管理者の育成—の三点を重視。地雷で足などを失った障害者の経済的自立を支援するため、蚊帳（かや）の縫製など職業訓練プロジェクトも開始する。

AMDAは平成七年、WHO（世界保健機関）からアフガニスタンの現状について報告を受け、ニーズ調査に着手。今回のプロジェクトはWHOが資金援助など全面的に協力する。

また、アフガンプロジェクトに協力し、地雷で足を失った人の職業訓練用に、と岡山市横井上の久慈由蔵さん（ハミ）からAMDAに対し手作りの杖（つえ）三百本が寄付された。